



創世記-22

レアの人生

— 苦しみと報い —

創世記 29 章 32 節～30 章 24 節

新改訳 2017

ホープチャペル所沢

イントロダクション

伯父のラバンに騙されたヤコブは、レアとラケルという姉妹を一度に妻にすることになった。この姉妹の間で、ヤコブの愛を得ようとして、出産競争が勃発する。ヤコブの心はいつもラケルに向いていたので、レアはヤコブの愛を得たいと思っていた。今日はレアの思いに焦点を当てながら出来事を見ていきたい。

1) 出産競争

- ・ 第1 ラウンド (創 29 : 32～35)
- ・ 第2 ラウンド (創 30 : 1～8)
- ・ 第3 ラウンド (創 30 : 9～13)
- ・ 第4 ラウンド (創 30 : 14～21)
- ・ 第5 ラウンド (創 30 : 22～24)

2) 地上におけるレアの人生

- ・ 愛されないレア
- ・ 子供たちの不祥事

3 報われたレアの人生

- ・ レアの願いの成就
- ・ レアの子孫の祝福
- ・ 死は終わりではない (マルコ 12 : 26～27a)

まとめ

ラケルとの「出産競争」にレアは圧倒的な数で勝利した。しかしレアが本当に望んだ夫ヤコブの心を自分に向けることはできなかった。しかし、レアが熱望した、「夫と共にいたい」という願いは、死んだ後に叶えられる。また、レアの子供からは、イスラエルの重要な 2 部族が出てくる。そのことをレアが知るならば、地上での苦しみは報われるのではないか。レアはいま天でそれを見て満足しているはずである。私たちの歩みは地上だけではない。天で受ける報いを覚えて今を生きよう。



今週のみことば

創世記 29 章 30～30 章 24 節

20240630hctj